

第53回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	村澤ゼミ	チーム名	「とう〜ん」
タイトル	映画のロコミと興行収入の因果関係		
テーマ群	a) 理論・情報		
メンバー	齊藤 大介		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>映画は大きなエンターテインメント産業の一環であり、興行収入は製作費を補うために重要である。自分自身、映画鑑賞が趣味で週に一回以上映画を見ている。その際に、デジタルメディアとオンデマンドサービスの急速な普及により映画視聴の手段とパターンが多様化している現在において、評価やロコミが映画の成功においてどれだけの影響を及ぼすのか疑問に思った。そこで私は映画の評価が高ければ高いほど興行収入は良いのか、またその逆を分析する。</p> <p>【研究内容】</p> <p>この研究では、「Rotten tomato」と「一般社団法人日本映画製作者連盟」で公開されているデータを用いて分析する。なお、分析の際には Gretl を用いる。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>上記二つから得るデータを用いることで、映画の評価と興行収入の因果関係を明確にすることができる。また、ジャンルごとに分けることでどのジャンルが人気なのかも明確にすることもできる。よって、見たい映画を見る際にその映画の評価と興行収入を見ることでより効果的な映画鑑賞をすることができると思う。</p> <p>【参考文献】</p> <p>Enrico Moretti 「Social Learning and Peer Effects in Consumption : Evidence from Movie Sales」 2011</p>		